

2025 年 10 月 27 日

各 位

日本初の円ステーブルコイン「JPYC」を  
SocialFi アプリ「WOW00」および分散型取引所「WOW Dex」に導入決定

～ “使える円” としてのデジタル円、Web3.0 エコシステムへの本格参入へ！～

当社が戦略的に支援する Web3 アプリ「WOW00」および分散型取引所「WOW Dex」に本日 2025 年 10 月 27 日にローンチされる、日本初の円建てステーブルコイン「JPYC」が対応資産として順次実装される予定となりました。

「WOW00」においては、Google Play Store での最新アップデート後、最速で火曜日（10 月 28 日）より、「WOW Dex」には、10 月 30 日（木）～11 月 1 日（金）を目処に順次対応を予定しております。

## 1. JPYC とは

「JPYC」は、株式会社 JPYC が発行する日本円に連動したステーブルコインです。ERC-20 トークンとして Ethereum 等のパブリックチェーン上で発行されており、1JPYC = 1 円の価値を持つことを目指して設計されています。

「JPYC」は、前払式支払手段として日本国内の法令に準拠して発行されており、現在は Web3.0 サービス、決済サービス、NFT マーケットなど、幅広いユースケースに対応しています。

銀行口座を持たないユーザーでも、円の価値をブロックチェーン上で保持・移転できることが特徴であり、パーミッションレスなデジタル円建て経済圏の基盤として注目されています。

※詳細は株式会社 JPYC の公式ページをご参照ください： <https://jpyc.co.jp/>

## 2. SocialFi アプリ「WOW00」とは

2025 年 8 月 20 日付 PR 情報「[（経過開示）SocialFi アプリ『WOW00』Android 版を正式リリース](#)」にて既報のとおり、WOW00 は Web3.0 時代の“感性ウォレット”を標榜する次世

代型 SocialFi アプリです。

暗号資産の管理・取引・送受信をはじめ、チャットベースのコミュニケーションや、善行を可視化する NFT 型パスポート「Mana」など、金融とソーシャルが融合した体験をユーザーに提供します。Ethereum、Polygon、Optimism など主要チェーンに対応し、NFT や SBT（ソウルバウンドトークン）も扱える設計となっています。

なお、現在 iOS 版も申請中であり、承認され次第リリースを予定しています。

### 3. 分散型取引所「WOW Dex」とは

2025 年 10 月 10 日付 PR 情報「[（経過開示）分散型取引所『WOW Dex』正式版の完成およびサービス開始](#)」にて既報のとおり、WOW Dex は Ethereum、Optimism、Solana を基盤とした分散型取引所（DEX）です。

現在は以下のトークンに対応しています。

- WOWBIT (\$WWB)
- GYAN BLUE (\$NYAN)
- Nyanmaru Gold Utility Token (AGF)

ユーザーは、KYC 不要で MetaMask や Phantom を接続し、シンプルな UI で直感的なトークン取引が可能です。

「JPYC」のローンチに伴い、「WOW Dex」では、日本円建てステーブルコイン「JPYC」への対応を、10 月 30 日（木）から 11 月 1 日（金）を目処に順次開始される予定です。

これにより、ユーザーは、円建てでのスワップ取引や、ミームコイン・NFT 関連トークンとの直接的な価値交換が可能となり、DEX の利用体験がさらに拡充される見通しです。

### 4. 今後の展望

今回の「JPYC」導入により、「WOW00」および「WOW Dex」のユースケースは、より実用性と親和性を持った日本円建ての Web3 体験へと拡張されていく見通しです。

「WOW00」では、ユーザーが日本円ベースで資産を保持し、送受信・NFT 決済をより直感的に行える環境が整いつつあります。

これは、暗号資産に対する「ドル建てのわかりにくさ」や「価格変動への不安」といった障壁を取り除く、大きな第一歩になると考えています。

また、「WOW Dex」においても、「JPYC」を用いた直接スワップが可能になることで、日本円とトークンの間をリアルタイムで行き来できる流動性の高いトレード体験が実現されることが期待されます。

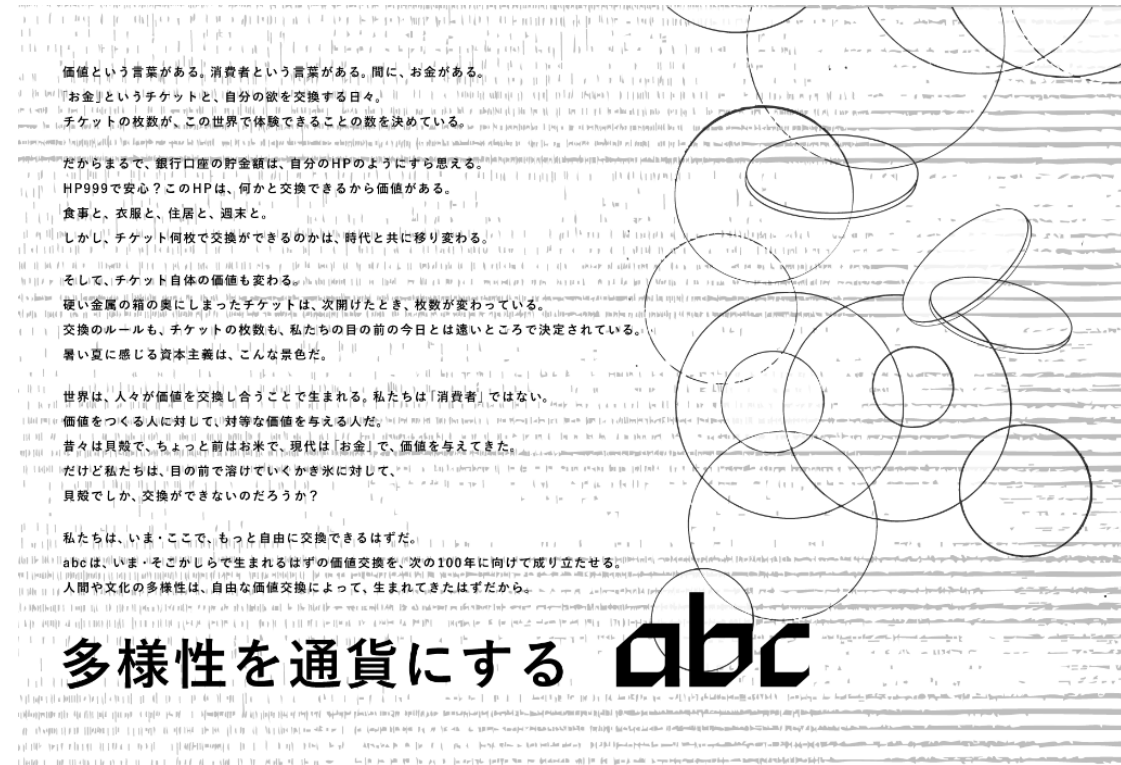
円を基軸としたトークンエコシステムにより、ミームコインやNFTなどの日本初発プロジェクトが、より日常的に取引されることが予想されます。

国内におけるステーブルコインの活用は、依然として初期段階にありますが、当社は「円が使える Web3 の実体験」がいち早くユーザーに届けられるよう、その実現を支援しながら、日本の Web3 ユーザー基盤の拡大と、金融の民主化・価値の分散化に貢献してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。  
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。  
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。  
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。  
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。  
食事と、衣服と、住居と、週末と。  
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。  
そして、チケット自体の価値も変わる。  
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。  
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前とは違いと決まられている。  
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。  
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。  
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。  
昔々は見捨てられて、今頃は米で、現代は「お金」で、価値を考えてきた。  
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、  
見捨てしか、交換ができないのだろうか？  
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。  
abcは、いま、そこがしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。  
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

# 多様性を通貨にする abc

## ■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

[pr@abc-chain.com](mailto:pr@abc-chain.com)

以上